

令和元年度 第2回 学校運営協議会 議事録

日時 令和元年10月 3日(木) 14:00~16:30

場所 本校会議室

委員の出席状況：7名出席(欠席：大金市美委員、田島委員、小川委員)

1. 開会 進行：事務局(教頭)

2. 校長挨拶

3. 議事 進行：若園会長

(1) 報告(校長)

①今年度の取組状況(中間報告)

1. 県外生徒受入環境の充実

1) 県外出身者の受け入れ対策に関する提案(吉成委員)(別紙資料)

町有住宅(サンコーポラス)を寮として提案

さまざまな課題については対応可能ではないか。

協議会内にワーキンググループ(WG)を作り、具体的な対応検討が必要

学校内の活性化委員会で課題について検討した

一居住区に、生徒2名(和室6畳に各1名)、管理人1名(和室4.5畳)の  
想定で2室を寮としたい。(最大4名)

9月現在、4・5階では三部屋空室→いつ仮押さえするか(長くは押さえられ  
ない)

他の部屋が3月に空いてもクリーニングに数週間かかる

(若園委員) 管理人が同居するということによいのか

→管理人としてシルバー人材を考えているが、時給制のため、必要な時  
のみ来てもらうということを想定している。

(校長) 出願の際に町に仮予約できるようにしておくといいのではないか

(齋藤) 和室4.5畳に入る生徒の室料が同じでいいのか

一部屋室料3万~3万2千円 管理人費約8万円

→一人では支払い困難、二人で町からの支援で可能でないか。

(町の賃料補助により実質負担は5万)

和室4.5畳はあくまでも管理人室としての扱い

共同室の扱い

(校長) 栃木や鹿沼等県内遠方から通う生徒にも需要があるのではないか

(若園) 保護者が安心して預けられる仕組みの構築が必要

WGのメンバーについて…

(校長) 役場に近い方に入っていただきたい。

(大金浩) 来年度入学生に間に合うように早急に組織できればよい

(若園) 仮でも動かしていき、必要であれば修正するような形で進めていった方がよい

希望者に対し、部屋の確保が難しいようであれば、大きくはPRできないだろう。

## 2) 馬頭高校活性化協議会での検討

## 2. 学校PRの充実(校長より)

### 1) 『生徒募集ポスター』の作成・県内外への掲示依頼

① 県内中学校への掲示依頼

② 道の駅、とちまるショップ等への掲示依頼

③ 全国教科技術教育研究大会(宇都宮大学)での配布

### 2) 『学校案内』の外部委託(宇都宮メディアアーツ専門学校)による魅力化 内容刷新、とちまるショップで50部配布

### 3) 学校ホームページの魅力化(「那珂川学」のページ作成)

### 4) 『広報なかがわ』での学校紹介記事

### 5) 報道機関での記事掲載

### 6) 地域との連携や地域活動への参加による地域社会・住民へのPR

## 3. その他

1) 一日体験学習参加者 今年度中学生97名(普67水30、うち県外2名)

2) 県高校進学フェア 本校ブース来訪者18組(普4組、水14組)

## (2) 意見交換

① 生徒との意見交換

② 教員との意見交換

## (3) 協議: 学校の魅力化、特色化について

○ 生徒・教員との意見交換報告ならびに委員からの意見・要望

(A班 齋藤) 生徒意見: 先生と親身に話ができる。卒業生がよく顔を出す~先生が頼りになる=頼りになる大人がいるということは魅力  
普通科にいと水産科の情報が入ってこない、生徒も学校のことをSNSで発信できるなら発信したい。

→普通科と水産科が交流する時間があるといいのではないか。

教員意見：町の企業の横のつながりがいい～学校がネットワークを構築できないか。

(B 班 岡) 生徒意見：地域の連携をもっと活用して馬高を PR したい。町民には今でも荒れているというイメージがある。生徒のイメージ戦略が必要

教員意見：施設の老朽化～要望をどのように出していくか。水産科の地下水が出ない。学校は一番の要望として出しているが、なかなか通らない。

(C 班 大金浩) 生徒意見：担任との距離が近い。水産科は小中学校の生徒ともっと交流したい。合同の球技大会ができればいいと考えた。

教員意見：細やかに生徒に対応

馬頭高校に宇都宮大学や町役場の枠を提供してもらえれば。

地域課題の解決等の一歩進んだ那珂川学を

水産科の功績をもっと PR を

HP を子どもの立場に立った形に

(若園) 那珂川学を通し、人前で話すことや外部に出ることに物怖じしなくなったという効果もあがっている。

#### (4) その他

校長より提案

- ・アーチェリー部とレスリング部による普通科での全国募集

(吉成) 指導者の問題があるのではないか。アーチェリーの専門性を県がどのようにサポートしてくれるのか。施設の老朽化。

(水産科青木)

レスリング部は栃木県内では競技人口が少なく、県内高校では4校しかない。

県外から能力のある子がくれば、上位に入賞することは可能。

- ・少人数クラス編成

町の方で指導補助員をつけることができるのではないか。

(若園) 制度として難しいところもあるだろう。

#### 4. 閉 会

事務連絡 12月中下旬～17日か19日で次回実施予定